

7月の学習ポスター

昆虫の体のつくりと育ち方

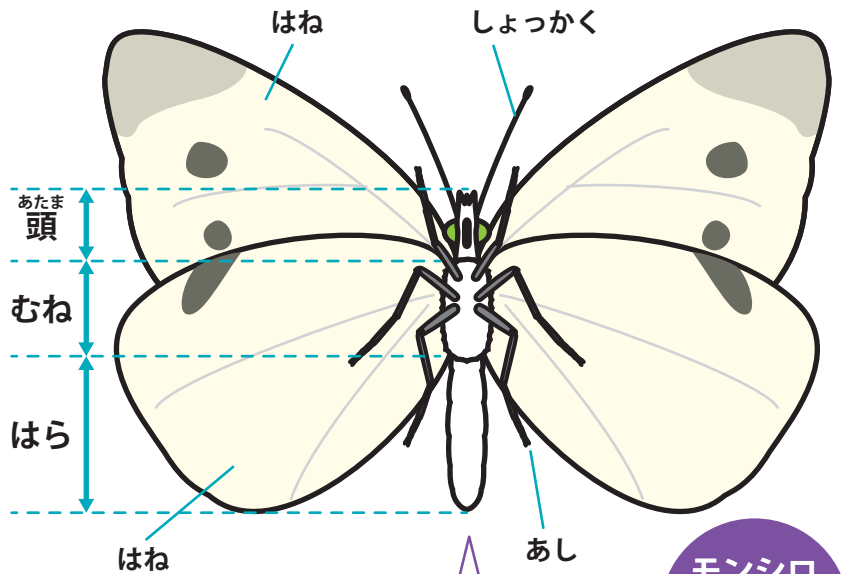
チョウやトンボは昆虫の仲間ですが、クモやムカデなどは昆虫ではありません。体のつくりや育ち方から、昆虫の仲間に共通する特ちょうを見てみましょう。

昆虫の体

昆虫の成虫の体は、**頭**、**むね**、**はら**からできています。また、むねには**あし**が**6本**あります。

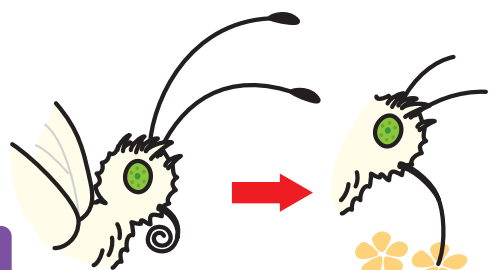
どの昆虫にも共通する、大事な特ちょうだよ！

しよっかくは、においや空気のふるえなどを感じ取るセンサーのはたらきをするよ。

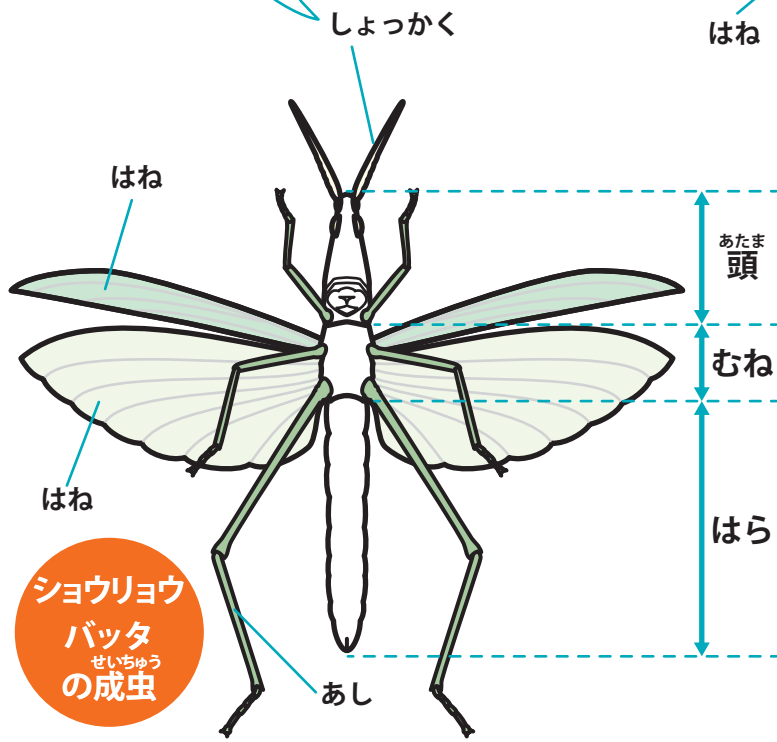


モンシロチョウの成虫

目 頭にある2つの目は、複眼といって、とても小さな目(個眼)がたくさん集まってできています。複眼は周りの様子や動きをよく見ることができます。



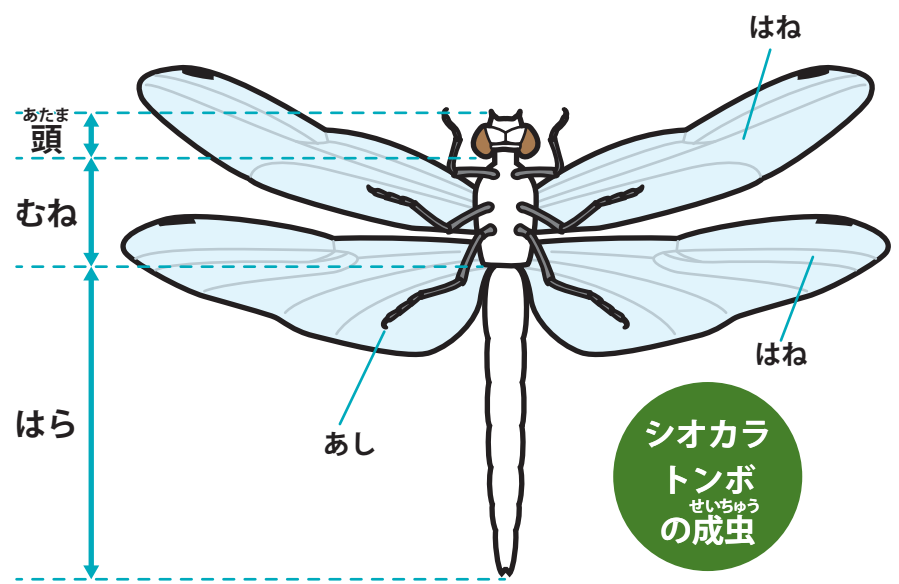
くち モンシロチョウの口は、普段はまるめてあり、花のみつを吸うときに、ストローのようにのびます。



ショウリョウバッタの成虫

はねのはたらき

多くの昆虫は、前翅と後翅と呼ばれる2対4枚のはねを持ち、それを使って飛ぶことができます。また、コオロギのようにはねをこすり合わせて音を出したり、カブトムシのように、かたい殻のようなはねで体を守ったりする場合もあります。



シオカラトンボの成虫

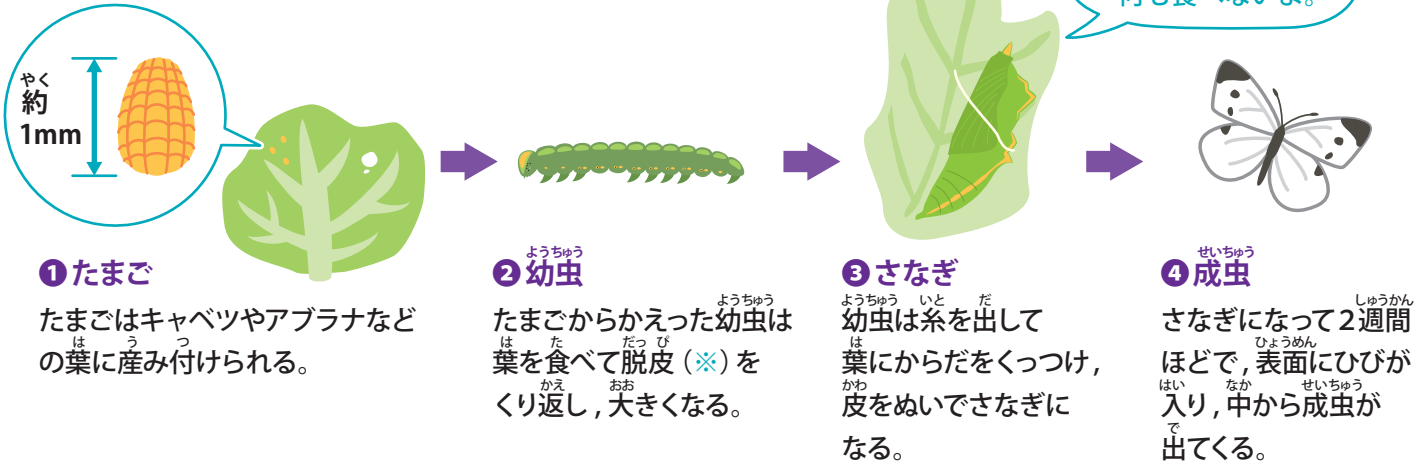
たまご→幼虫→さなぎ→成虫の順に育つ昆虫

チョウやハチの仲間、カブトムシなどは、たまご→幼虫→さなぎ→成虫の順に姿を変えながら育ちます。

モンシロチョウの育ち方

※脱皮…古い皮をぬいで成長すること。

さなぎは動かないし、何も食べないよ。



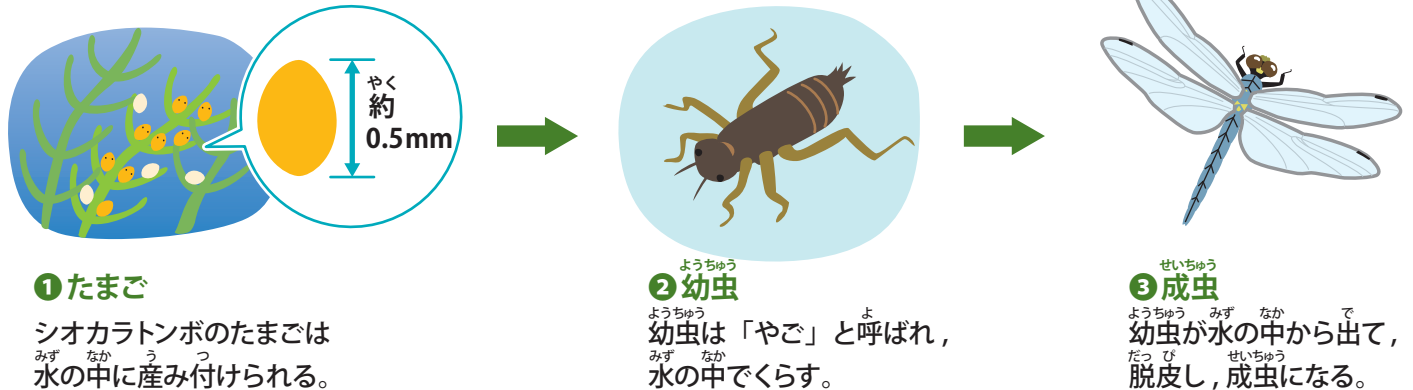
たまご→幼虫→成虫の順に育つ昆虫

バッタやトンボ、セミの仲間などは、さなぎにならず、たまご→幼虫→成虫の順に育ちます。

ショウリョウバッタの育ち方



シオカラトンボの育ち方



昆虫に似ているけれど、昆虫ではない生き物

クモには8本、ダンゴムシには14本、ムカデにはそれ以上のあしがあります。また、からだか頭、むね、はらの3つの部分にわかれていません。これらのことから、クモやダンゴムシ、ムカデは昆虫ではないということがわかります。

